

保護者 各位

遠野市立附馬牛小学校
校長 井 藤 聡

令和7年度 年度末学校評価・まなびフェスト振り返り結果について（お知らせ）

立春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より本校の教育活動に対し多大なるご理解とご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、過日行いました年度末学校評価並びにまなびフェスト振り返りに関わるアンケートにつきまして、お忙しいところご協力をいただき、ありがとうございました。

このことに関わり、アンケートの集計結果及び集計結果に対する学校運営協議会附馬牛小部会の委員の皆様からの意見等について以下の通りお知らせいたします。今回の集計結果及び学校運営協議会で出されたご意見などを踏まえ、来年度の学校経営方針並びにまなびフェストの取組内容等について改善を図ってまいりたいと存じます。なお、来年度の学校経営方針の概要案については2月17日の授業参観日の際にも校長よりご説明いたします。

I 【学校評価アンケート（今年度重点取組について）集計結果】

※肯定回答はA（そう思う）とB（どちらかというと思う）を合わせた数値です。

※太字・下線部は肯定評価が90%をこえた項目です。

1. 「学びづくり」について

（1）学校（教職員）は、小規模・複式の良さを生かした学習指導の充実に向けて取り組んでいるか。

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
保護者	94.7%	87.5%	－7.2
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

（2）学校（教職員）は、地域の人・もの・ことを生かした学習の充実に向けて取り組んでいるか。

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
保護者	100%	<u>100%</u>	±0
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

（3）学校（教職員）は、継続的・計画的な読書の推進に取り組んでいるか。

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
保護者	94.8%	81.3%	－13.5
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

（4）学校（教職員）は、指導力や業務能力等を伸ばすために研修の充実に取り組んでいるか **※教職員自己評価**

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

2. 「心づくり」について

（1）学校（教職員）は、思いやりの心を育む指導の充実に向けて取り組んでいるか。

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
保護者	94.8%	81.3%	－13.5
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

（2）学校（教職員）は、交流活動や体験的な活動を通したボランティア教育の充実に向けているか。

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
保護者	（未実施）	<u>100%</u>	
教職員	（未実施）	<u>100%</u>	

(3) 学校(教職員)は、教育環境の整備に努めているか。

	肯定回答(中間)	肯定回答(年度末)	比較増減
保護者	100%	<u>100%</u>	±0
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

3. 「体づくり」について

(1) 学校(教職員)は、児童による主体的な健康増進の取組を推進しているか。

	肯定回答(中間)	肯定回答(年度末)	比較増減
保護者	94.7%	<u>100%</u>	+5.3
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

(2) 学校(教職員)は、家庭と連携しながら基本的生活習慣の向上に向けて取り組んでいるか。

	肯定回答(中間)	肯定回答(年度末)	比較増減
保護者	100%	<u>100%</u>	±0
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

(3) 学校(教職員)は、家庭と連携しながら保健指導の充実にに向けて取り組んでいるか。

	肯定回答(中間)	肯定回答(年度末)	比較増減
保護者	100%	<u>100%</u>	±0
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

4. その他

(1) 学校(教職員)は、保護者に対して必要な連絡を的確に伝えたり学校の状況をわかりやすく発信したりしているか

	肯定回答(中間)	肯定回答(年度末)	比較増減
保護者	100%	<u>100%</u>	±0
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

(2) 学校(教職員)は、家庭と連携しながら教育活動を推進しているか

	肯定回答(中間)	肯定回答(年度末)	比較増減
保護者	100%	<u>100%</u>	±0
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

Ⅱ 【まなびフェスト振り返り集計結果】

※肯定回答はA(そう思う)とB(どちらかというと思う)を合わせた数値です。

※太字・下線部は年度末評価で数値目標を達成した項目です。

【子どもの取組状況について】(児童の自己評価、保護者・教職員は児童の取組に対する評価)

1. まなび合う子ども

①授業に集中して取り組めたか【数値目標90%以上】

	肯定回答(中間)	肯定回答(年度末)	比較増減
児童	96.5%	<u>92.5%</u>	-4.0
保護者	79.0%	71.4%	-7.6
教職員	100%	<u>91.0%</u>	-9.0

②授業で自分の考えを進んで発言できたか【数値目標90%以上】

	肯定回答(中間)	肯定回答(年度末)	比較増減
児童	89.7%	81.4%	-8.3
保護者	63.2%	64.3%	+1.1
教職員	66.6%	81.8%	+15.2

③毎日家庭学習や宿題に取り組めたか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
児 童	95.5%	<u>100%</u>	+4.5
保護者	89.4%	<u>100%</u>	+10.6
教職員	88.8%	<u>100%</u>	+11.2

④続けて読書に取り組めたか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
児 童	89.7%	81.5%	—8.2
保護者	84.3%	71.4%	—12.9
教職員	88.9%	<u>90.9%</u>	+2.0

2. 心かよい合う子ども

①自分のよいところを見つけ、伸ばせるように頑張ることができたか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
児 童	93.1%	85.1%	—8.0
保護者	68.4%	71.4%	+3.0
教職員	66.6%	72.8%	+6.2

②すすんで明るいあいさつをし、時と場に合った話し方ができたか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
児 童	100%	<u>92.5%</u>	—7.5
保護者	68.4%	71.4%	+3.0
教職員	66.6%	72.8%	+6.2

③いじめをせず、友だちと仲良く協力し合ったり助け合ったりすることができたか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
児 童	93.1%	<u>96.3%</u>	+3.2
保護者	89.5%	<u>92.9%</u>	+3.4
教職員	100%	<u>91.0%</u>	—9.0

3. きたえ合う子ども

①毎日、早寝・早起き・朝ごはん・歯みがきに取り組めたか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
児 童	68.9%	70.3%	+1.4
保護者	73.6%	78.6%	+5.0
教職員	88.9%	<u>100%</u>	+11.1

②メディアコントロールに取り組めたか。【数値目標90%】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
児 童	82.8%	85.2%	+2.4
保護者	84.2%	71.4%	—12.8
教職員	66.6%	63.7%	—2.9

③体力づくりに進んで取り組むことができたか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
児 童	96.6%	<u>92.6%</u>	—4.0
保護者	78.9%	71.4%	—7.5
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

【家庭での取組について】（保護者の自己評価）

1. まなび合う子ども

①家庭では、子どもの良さや頑張りを認め、励ますよう努めているか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
保護者	100%	<u>100%</u>	±0

②家庭では、子どもが集中して家庭学習に取り組めるよう協力しているか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
保護者	94.7%	78.5%	—16.2

③家庭では、子どもと一緒に読書する時間をできるだけつくるよう努めているか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
保護者	36.8%	42.8%	+6.0

2. 心かよい合う子ども

①家庭では、家族であいさつを交わし合っているか。【数値目標100%】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
保護者	100%	<u>100%</u>	±0

②家庭では、子どもと毎日いろんな会話をしているか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
保護者	100%	<u>92.8%</u>	—7.2

③家庭では、子どもの仕事や役割を決めて、毎日取り組ませているか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
保護者	57.9%	64.3%	+6.4

3. きたえ合う子ども

①家庭では、子どもに早寝・早起き・朝ごはん・歯みがきに取り組ませているか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
保護者	93.7%	<u>92.8%</u>	—0.9

②家庭では、Wゼロデーやノーメディア週間などのメディアコントロールに親子で取り組んだか。

【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
保護者	94.7%	85.7%	—9.0

③家庭では、子どもが体力づくりを継続できるよう励ましているか。【数値目標80%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
保護者	89.4%	<u>85.7%</u>	—3.7

【学校での取組について】（教職員の自己評価）

①学校は、わかる授業を目ざして授業改善に取り組んでいるか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

②学校は、表現力を伸ばす指導を行い、自分の考えを表現できる子を育てているか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
教職員	88.9%	<u>100%</u>	+11.1

③学校は、家庭学習の進め方を指導し、進んで家庭学習に取り組めるよう努めているか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

2. 心かよい合う子ども

①学校では、自己肯定感を高めるような指導・声掛け等をしているか。【数値目標100%】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

②学校では、あいさつの大切さや、時と場に合った話し方などが身に付くよう指導を行っているか。

【数値目標100%】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

③学校では、学校いじめ防止基本方針に則り、いじめをしない・いじめを許さない意識を育てるよう指導を行っているか。【数値目標100%】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

3. きたえ合う子ども

①学校では、健康観察等の時間を活用し基本的生活習慣の取組状況を把握し、必要に応じて家庭と連携しながら指導しているか。【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

②学校では、適切なメディア利用性を指導し、メディアコントロールに主体的に取り組めるよう努めているか。

【数値目標90%以上】

	肯定回答（中間）	肯定回答（年度末）	比較増減
教職員	100%	<u>100%</u>	±0

Ⅲ 【結果の考察及び来年度に向けての方向性】

1. 学校評価（重点取組）について

（1）全体的な傾向

→若干数値が下がった項目はあるが、概ね9割前後あるいは9割以上の肯定評価となっており、100%の項目が多くなっています。

（2）肯定回答が1学期末よりも低下した項目は以下の通りです。

- ①小規模複式の良さを生かした学習指導…保護者87.5（－10.2）
- ②継続的計画的な読書の推進…保護者81.3%（－13.5）
- ③思いやりの心を育む指導の充実…保護者81.3%（－13.5）
- ④家庭と連携した教育活動…保護者87.6%（－12.4）

2. まなびフェスト評価結果について…下線部は数値目標達成した項目です。

ア. 子どもの取組について（三者回答）

（1）まなび合う子ども（知）

- ①授業に集中【目標90%】…児童92.5%、保護者71.4%、教職員91%
- ②自分の考えを発言【目標90%】…児童81.4%、保護者64.3%。教職員81.8%
- ③毎日家庭学習【目標90%】…児童100%、保護者100%、教職員100% ☆三者達成！
- ④続けて読書【目標90%】…児童81.5%、保護者71.4%。教職員90.9%

（2）心かよい合う子ども（徳）

- ①自分のよいところ【目標90%】…児童85.1%、保護者85.7%、教職員81.8%
- ②すすんで明るいあいさつ&言葉遣い【目標90%】
…児童92.5%、保護者71.4%、教職員72.8%
- ③いじめをしない【目標90%】
…児童96.3%、保護者92.9%、教職員91% ☆三者達成！

（3）きたえ合う子ども（体）

- ①早寝早起き朝ごはん歯磨き【目標90%】…児童70.3%、保護者78.6%、教職員100%
- ②メディアコントロール【目標90%】…児童85.2%、保護者71.4%、教職員63.7%
- ③続けて体力づくり【目標90%】…児童92.6%、保護者71.4%、教職員100%

イ. 家庭の取組について（保護者回答）

（１）まなび合う子ども（知）

- ①家庭学習の励まし【目標９０％】…１００％
- ②家庭学習への協力【目標９０％】…７８．５％
- ③一緒に読書【目標９０％】…４２．８％

（２）心かよい合う子ども（徳）

- ①家族であいさつ【目標１００％】…１００％
- ②子どもと会話【目標１００％】…９２．８％
- ③家庭での役割や仕事【目標９０％】…６４．３％

（３）きたえ合う子ども（体）

- ①早寝早起き朝ごはん歯磨き【目標９０％】…９２．８％
- ②メディアコントロール【目標９０％】…８５．７％
- ③続けて体力づくり【目標８０％】…８５．７％

ウ. 学校の取組について（教職員回答）

（１）まなび合う子ども（知）

- ①わかる授業をめざした授業改善【目標９０％】…１００％
- ②表現力の育成【目標９０％】…１００％
- ③家庭学習の指導【目標９０％】…１００％
- ④読書指導【目標９０％】…１００％

（２）心かよい合う子ども（徳）

- ①自己肯定感を高める指導【目標１００％】…１００％
- ②挨拶や話し方指導【目標１００％】…１００％
- ③いじめ予防に向けた指導【目標１００％】…１００％

（３）きたえ合う子ども（体）

- ①基本的生活習慣の指導【目標９０％】…１００％
- ②メディア利用の指導【目標９０％】…１００％
- ③健康増進・体力づくり指導【目標９０％】…１００％



令和８年度に向けての重点改善事項 ※学校運営協議委員からの意見も踏まえて

１. 重点取組について

- ①「学習指導の充実」→小規模・複式の良さを生かした授業改善の継続と強化
 - ・児童の問題意識を高めるような授業の工夫
 - ・間接指導の場を中心とした「学び合い」の充実（表現力の向上、知識の活用など）
- ②「地域への理解と愛情を深める教育活動の充実」
 - 附馬牛・遠野の「ひと・もの・こと」を生かした学習活動と地域とのタイアップ
 - ・各教科や総合的な学習、地域連携協働活動の充実など
 - ・創立５０周年事業を契機とした学校に対する誇りを高める指導
- ③「思いやり・人間性を伸ばす指導／道徳教育」
 - 児童の主体性、興味関心を高める工夫
 - ・あたたかな人間関係、いじめをしないさせない指導＝家庭との連携、共通理解
 - ・特別支援教育及びインクルーシブ教育の充実
 - …児童の困り感に応じた支援の充実、直接体験を中心としたボランティア教育の推進など

２. まなびフェストについて

- ・家庭学習→意義や目的の共通理解 ・「達成感」を大事にした読書指導
- ・メディアコントロール→W ゼロデーの定着、メディア利用の共通理解
- ・基本的生活習慣（早寝・早起き・食事・歯磨き等）→保護者への啓発（PTA 活動と連動）
- ・読書→「読書がんばりカード」の定着と活用
- ・家庭での取組での未達成項目に関わる呼びかけ、啓発

３. その他

- ・地域との連携強化（５０周年事業・地域ボランティアの呼びかけ・各行事等の周知と発信）
- ・祖父母も「一緒に活動」できる場の工夫など→祖父母参観の充実